



西の原っ子応援団【家庭教育学級委員会】活動内容紹介



●1年生保護者の方々に活動する委員会です。子どもたちの成長や教育を学ぶことができ、様々なイベントを学校と協力をして行います。下記へ詳細記載しています。

【家庭教育学級委員会】 ※1年生保護者のみ

人数	1学年全保護者より4名程度
活動内容	・家庭で子どもの教育を行う時に必要な心構え・留意点などを学ぶ場や保護者同士の親睦を深めるイベントの企画・運営
活動頻度	・企画は6～8回/年程度開催(会場は、学校、文化センター、その他) ※うち3回は、市のイベントに参加のみ →令和6年度の企画は、 開級式(校長先生の講話、学校ツアー) 浴衣着付け教室 子育て講座(ほめ方としかり方) 給食センター見学・試食会 バランスボール 閉級式(歯磨き指導) ・1企画につき、1回程度集まって打ち合わせ(今年度は、LINEでやりとりしながら作業し、企画開催前に1度委員集合して、打ち合わせ) ・学校で印刷、配付物をクラスポストへ投函作業
自宅での作業	・案内の作成、学習の記録会作成、会計管理、打ち合わせ等
役割	運営委員長:学校 教頭先生、市との連絡調整 副委員長:運営委員長の補助 運営委員(数名):会計、案内作成、司会等←みんなで調整してやりくりできます。
その他 (委員経験者による楽しかったことや大変だったこと)	【大変だったこと】 ・全体のスケジュールを立てるまでの期限が短いので、最初が大変だった。 ・年間行事の計画と予算の作成。(必須が思ったより多く、開催回数等も悩んだ。) ・講師との連絡のやり取り、食い違いなど。 ・参加者を集めることや周知が難しいと思った。

【良かったこと】

- ・自分も参加する事で学校や地域との関わりを感じられた。
- ・子育ての悩みを専門の講師の方の考え方を聞く事ができてよかった。
- ・1年生に成り立てで親も子も不安な中、委員を行ったことで知り合いが一気に増え、教頭先生や学校とも距離が縮まって学校が身近に感じられた。
- ・初めての者同士手探りで行っていたが、皆で分担し協力し合えたから苦にならなかった。
- ・保護者間の輪を作るのが目的とのことで、入学時知り合いがほとんどいなかったところから、たくさん繋がりができて良かった。先生とも話す機会があり学校との距離も縮まった。
- ・同学年の保護者と知り合えるから、自分の悩みや不安の共有ができて良かった！
- ・学校に行くことで子どもの様子も見られて子どもも親が来ているのを見て喜んでいた。
- ・子どもの相談、学校行事に参加できた事、家庭教を知れて良かった。
- ・企画、運営が好きな人、お友だちを作りたい人には、家庭教がとても向いていると思います。